

今月のコラム

皆さまはまた子供の頃の絵本を取っておいでですか。私の母は物を捨てる人ではないので私たちが兄弟3人の小学校の頃の作文や気に入りの洋服などを取っておく人です。

とりわけ絵本や本は決して捨てることはありませんでした。手放したことはないという思いでTシャツの絵本や雑誌を家裏に置いておいた。それから数年が経ち、私達兄弟にもそれぞれ子供が生まれ、母は子供たちに、と突然にまた絵本を分けてくれました。保存状態が余り良くないものも多かったのですが、多くは娘である私のところにきました。

「ぐりとぐら」「三匹のせむしのからからせむし」「大玉おかし」「ぐりとぐらのおかし」「ピーターラビット」「うさぎのうさぎ」(今はミニアートと呼ばれていたりする)は、今でもロングセラーとして人気の絵本がたくさんあります。中には裏表紙に幼い頃で私たちが名前を書きつけているものもあります。

中でも私はピーターラビットのシリーズが大好きでした。3冊ずつの箱のおかしは大切に取っておいた。4〜5歳には読んでいた。子供心にとても高揚して見ることができて心算もめくったことがあった。

母に子供、こども人気が出る前にこの本の何がわかるか、福音館書店に問い合わせた。『よくわかるおかし』出版関係の方ですかと聞かれた。この語は昔話の語彙から出てくるおかしは自慢話の1つで私達にも語り継がれる。

作者であるビアトリクスポターは自然の動物に小さい頃から大変興味があり、何時も観察に没頭して絵をかき、好む動物は後に知り、その繊細な描写に描かれた。思いました。今はおかしが大きく描かれた子供向けの部屋の本棚には私の絵本達を並べたおかしを置いておいた。(Y)

# メディアセンターニュース



NO.106 2014年2月7日 発行

立春を過ぎてはまだ肌寒いメディアセンターですが、ノンフィクションの展示、英語や理科等の教科の展示などを用意して皆さんをお待ちしています。

バレンタインデーのお菓子のレシピ本を探すもよし、学校寄席で楽しんだ落語の本を借りるもよし、MCの活用はあなた次第です。

## 今月のテーマ

バレンタインデーにちなんで、チョコレートにまつわる本を集めました。でも、「甘い」だけのチョコではありません…

授業では教えない

## 宇宙

## チョコレート

まだ夜が長く、晴れた日の多いこの時期、夜空を見上げてみたり、宇宙の果てに思いを巡らしたりしてみませんか？

甘い？

ほろ苦い？

園芸室側入口の展示台を見に来てね！

### 『チョコレート・アンダーグラウンド』

アレックス・シアラー著 求龍堂 933/Sh14

舞台は現代のある国。選挙で勝利した健全健康党が、チョコレート禁止法を発令します。違反した子どもはみな、矯正施設へ送られることになってしまいました。

このおかしな法律に、ハントリーとスマッジャーのふたりの少年は、チョコレートを密造して売ることによって抵抗します。しかしそんなふたりの動きは捜査官にかぎつかれて一。

「今月のテーマ」からのオススメ本



先生が挙げてくださった絵本は、すべてMCにあります。中高生のみなさんにとっても、懐かしく感じる本が多いのではないのでしょうか。「メディアセンターニュースで紹介された本」のコーナーに展示してありますので、見てみてください。

←『ピーターラビットのおはなし』(福音館書店)より

## 史料室より

### 河井道記念礼拝の講演者ご紹介

2月12日の記念礼拝でお話くださる和田礼子さんは、恵泉の普通部(4年)、高等部(2年)、英専(2年)を卒業されました。

1941年のご入学なので、河井先生から直接教えを受けていらっしやいます。1949年にアメリカに留学され、帰国後はアメリカのテレビ番組や映画の日本語脚本の制作、アメリカ大使館勤務など、恵泉で培った英語力を活かしてお仕事をされてきました。

現在は、同窓会有志による英文学読書会をなさっていらっしやいます。史料室で行われた2004年「4本柱としての芸術をめぐる」、2011年「恵泉の英語教育—河井学園長の時代」の座談会でお話しいただいていますので、ご紹介します。河井先生のお写真も展示します。



私の一番好きな本は「The Hunger Games」という本です。殺し合いゲームの話です。なぜ好きなのかというとストーリーが変わって作者の Suzanne Collins の書き方がおもしろいからです。是非お勧めしたいです!



Odyssey Wardell (オッティ)

### 6年生・3年生対象 読書記録差し上げます

3年間の読書記録を差し上げます。希望者は図書部員に申し出てください。「こんな本を読んでいたんだ!」と懐かしく思い出すときが来るかもしれません。卒業の記念にいかがですか?